

近年、世界的に水害が多発しているように、日本でも局地的な大雨の発生頻度が増加する傾向にあります。大雨による災害の多くは、狭い範囲に短時間の強い雨が集中して降ることにより発生し、これからの梅雨の時期や台風シーズンによく発生します。その中で、災害時に的確な判断を行うために事前の情報収集と「いざというとき」に素早く避難するための日ごろの備えが重要になります。

風水害に備えよう

事前準備

- ・非常用持出品の準備
- ・備蓄の準備（10日分）
- ・地域の危険箇所をチェック
- ・避難所、避難路の確認
- ・家族での話し合い



台風接近

- ・テレビ、ラジオ、インターネットで情報収集
- ・窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要ならば外から板を打ち付けて補強
- ・風でとばされそうな物は固定するか、風の当たらないところに収納
- ・非常用持出品の確認
- ・備蓄の確認
- ・避難所、避難路の確認（再度）
- ・自主避難の判断



和歌山県防災ナビ

平成30年5月29日より「和歌山県防災ナビ」が配信開始されました。避難トレーニングなど、ご家庭で役立つ機能がたくさんあります。ぜひご活用ください。

○主な機能

- (1) 避難先検索
- (2) 防災情報プッシュ通知
- (3) 家族等が避難した場所の確認
- (4) 避難トレーニング



下記のQRコードを読み込むと、アプリ取得ページにアクセスできます。より詳細を知りたい場合は「和歌山県防災ナビ」と検索すると和歌山県のホームページに詳細ページがあります。



事前に情報を取得しよう

災害への対応、特に台風は事前にテレビやラジオ・インターネットを通して情報を得ることができます。今回は、インターネットを活用した情報収集手段の一つとして「防災わかやまメール配信システム」と「Yahoo! JAPAN災害情報アプリ」を紹介します。

登録方法



①防災わかやまメール配信システム

「regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp」

上記のアドレスに、そのままメールを送信するか左のQRコードを読み込んでください。（件名・本文は不要です）

登録用のURLが届きますのでインターネット経由でアクセスし情報登録をお願いします。



②Yahoo! JAPAN災害情報アプリ

左のQRコードを読み込むか

「http://emg.yahoo.co.jp」を入力し登録します。